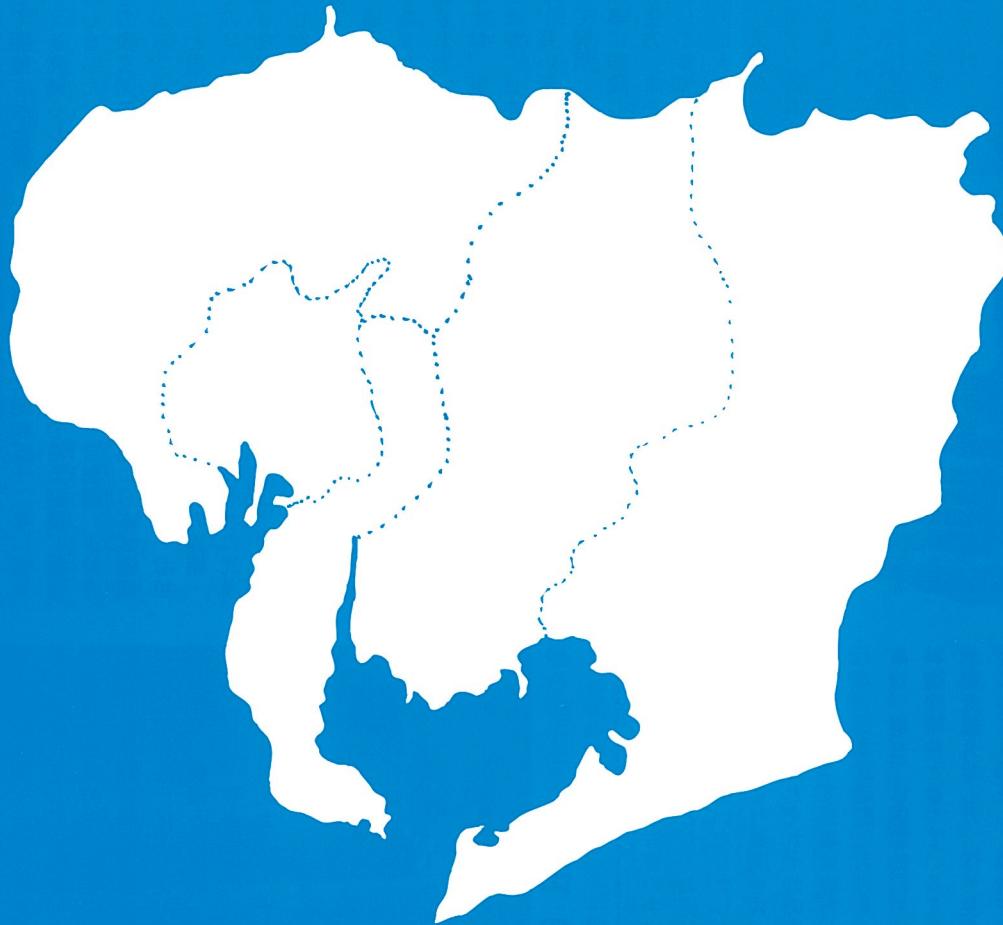


観の眼



—— 目 次 ——

卷頭言	1	日本で学ぶ剣道	11
EXPO剣道フェスティバル	2	連盟所在地	11
EXPO剣道フェスティバルに参加して	3	おめでとう	12
全日本大会 県代表選手の戦績	5	18年度事業計画	13
平成17年度 評議員会・理事会	6	審査料・登録料	16
都道府県大会報告	6	事務局だより	17
中部日本剣道大会 第50回記念大会	7	計報	18
指導員養成講習会に参加して	8	編集後記	18

第30号



財団
法人

愛知県剣道連盟

一〇〇五年九月二十五日、「自然の観智」と一二〇ヶ国参加による「地球大交流」をテーマとして開催された愛知万博は驚異的ともいえる素晴らしい成果を上げ、無事閉幕しました。その要因は、名古屋の表玄関のツイントンタワーの完成、中部国際空港の開港との相乗効果にもあったと思いますが、やはり一番大きかったのは、愛知県民の力強い協力がありました。七百二十万県民の参加がもたらした、愛知万博の成功と言つても過言ではないと思われます。そしてまた剣道界も、愛知万博で大きな成果をおさめました。

八月三十一日に実施された「EXPO剣道フェスティバル」は、剣道界にとって未知の行事でしたが、日本古来の尚武の精神に由来し、長い歴史と社会の変遷を経て道として発展した伝統文化である剣道を、見事に表現しました。主催の全剣連の先生方、また主管の愛剣連の実行委員として参加された先生方のご苦労、ご努力は大変なことであったと思いますが、大成功であつたことに感謝申し上げます。これら関係者のご苦労、立案から実施に至る経過は『記録二〇〇五EXPO剣道フェスティバル』として刊行されました。会員始め多くの方に、是非とも一読いただけることを願っております。さて、この剣道フェスティバルを成功に導いた功労により、愛知県剣道連

盟は日本武道協議会から武道優良団体として「武道功労表彰」を受けました。日本武道協議会は昭和五十二年に発足し、日本古来の武道である剣道、柔道、相撲、空手道、合気道、少林寺拳法、なぎなた、銃剣道に日本武道館を加えた一〇の団体で組織され、一致協力、共同の目的に対しても相互の連絡・協調・融和をはかり、それぞれの武道を奨励してその精神を高揚し、国民の弓道、相撲、空手道、合気道、少林寺拳法、なぎなた、銃剣道に日本武道館を加えた一〇の団体で組織され、一致協力、共同の目的に対しても相互の連絡・協調・融和をはかり、それぞのの武道を奨励してその精神を高揚し、国民の

盟は日本武道協議会から武道優良団体として「武道功労表彰」を受けました。

開会は十二時でしたが、会場に入りまして驚いたことには甲冑に身を固めた人が百人余、加えて模範演武や稽古敷かれた特設会場で、厳肅な雰囲気の中での塙川正十郎会長より表彰状の授与があり、緊張と感動の一時を体験いたしました。剣道個人の功労表彰者は宮城県の堀籠範士で、八十五歳になら

の武士の精神は現在にも必要なことで、これは日本人の美德として、世界の人々と交際する上にも必要なことで

行事は、諸武道の模範演武となり、剣道は上野範士による居合の演武でした。格調高い素晴らしい演武に観客が万雷の拍手で応じたことは申すまでも

稽古を始めました。それは凄まじいと云いますか、壯絶と云いますか、何とも形容し難い雰囲気でした。

表彰式と武道館恒例の行事に出席し、深い感動、感銘を受け、私なりに考えさせられました。いまや武道は世界各

國に普及し、国際的にも関心が寄せられていました。我々は単なる技術の修練や勝敗の結果のみおぼれず、武道の真髄から逸脱することのないよう自省するとともに、このような日本の伝統文化を維持発展させるよう努力しなければならないと思います。今後も尊敬

される範士は武道功労者の中では最年長でしたが、毅然としたお姿で大変に嬉しく、また感動いたしました。

古式のつとり鏡開き式、続いて三年頭行事である鏡開き式が挙行され、この表彰式があり、愛知県剣道連盟から不肖私と北村事務局長が出席致しました。

十八年一月九日、日本武道館においてこの表彰式があり、愛知県剣道連盟から不肖私と北村事務局長が出席致しました。

当日、日本武道館では表彰式に加えて年頭行事である鏡開き式が挙行され、この表彰式があり、愛知県剣道連盟から不肖私と北村事務局長が出席致しました。

十八年一月九日、日本武道館においてこの表彰式があり、愛知県剣道連盟から不肖私と北村事務局長が出席致しました。

この表彰式があり、愛知県剣道連盟から不肖私と北村事務局長が出席致しました。



「愛・地球博」
EXPO
剣道フェスティバル開催
理事長 勝 股 寿 彦



全日本剣道連盟が主催した「EXPO剣道フェスティバル」は、愛知県剣道連盟にとってもこれを主管するという一大事業であります。本事業が全日本剣道連盟と愛知県剣道連盟の協力によって成功裡に終了したことを見たことを心から慶びたいと思います。また、本紙面をお借りして、本事業にご協力いただいた全ての皆様に、お礼申し上げたい。とくに県内からの皆さんの皆さん、本当にありがとうございます。とにかく、良い出となつたことを祈念いたします。

八月三十一日の開催日当日、三千席ある会場が満席となり、主管連盟理事長として一安心いたしました。そして第一部から第四部までの四時間の演武が、日本の剣道の真髄を見事に表現し、それを観客の皆さんに伝え、世界に向けて発信できたこと

第三部は国際親善紅白試合。十六国籍十八名の外国人選手が紅白に分た。

第一回のテーマは「形の真髄と美」、日本剣道形、柳生新陰流兵法、神道夢想流杖術、天道流薙刀術、居合道の演武によって、伝統武道の技が現代に生きることが示されました。日本剣道形の演武は愛剣連の林邦夫範士八段と渡邊香教士八段でし



卷頭言

財団法人 愛知県剣道連盟副会長

和田伊功

の武士の精神は現在にも必要なことで、これは日本人の美德として、世界の人々と交際する上にも必要なことで、行事は、諸武道の模範演武となり、剣道は上野範士による居合の演武でした。格調高い素晴らしい演武に観客が万雷の拍手で応じたことは申すまでも武道館が満席の中、中央に赤い絨毯を敷かれた特設会場で、厳肅な雰囲気の中での塙川正十郎会長より表彰状の授与があり、緊張と感動の一時を体験いたしました。剣道個人の功労表彰者は宮城県の堀籠範士で、八十五歳になら

武道館が満席の中、中央に赤い絨毯を敷かれた特設会場で、厳肅な雰囲気の中での塙川正十郎会長より表彰状の授与があり、緊張と感動の一時を体験いたしました。剣道個人の功労表彰者は宮城県の堀籠範士で、八十五歳になら

武道館が満席の中、中央に赤い絨毯を敷かれた特設会場で、厳肅な雰囲気の中での塙川正十郎会長より表彰状の授与があり、緊張と感動の一時を体験いたしました。剣道個人の功労表彰者は宮城県の堀籠範士で、八十五歳になら

武道館が満席の中、中央に赤い絨毯を敷かれた特設会場で、厳肅な雰囲気の中での塙川正十郎会長より表彰状の授与があり、緊張と感動の一時を体験いたしました。剣道個人の功労表彰者は宮城県の堀籠範士で、八十五歳になら

全日本大会

愛知県代表選手の戦績

第五十三回全日本剣道

選手権大会

平成十七年十一月三日に日本武道館で開催された本大会には、本県代表として清水基史選手（愛知県警）と安藤戒牛選手（愛知県警）が出場した。初出場の清水選手は一回戦で惜敗した。

六回目出場の安藤選手は二回戦で惜敗した。

一回戦
清水基史 対 内村良一（東京）

準優勝の内村選手との対戦で序盤から互角の攻防が続いた。中盤清水選手が内村選手の攻めに押され気味にて面に伸びるところ、小手を取られ、清水選手の一本負けとなつた。

安藤戒牛 対 安部朋宏（香川）

間合いの攻防から片手突きが決まり、安藤選手の一本勝ち。

二回戦

安藤戒牛 対 清家宏一（大阪）

上段の清家選手に対して時間内は大きな動きはなく、延長に入り安藤選手が攻めに転じたが、清家選手も攻め負けず、安藤選手が引き気味か

れて面に伸びるところ、小手を取られ、清水選手の一一本負けとなつた。

平成十七年度

評議員会・理事会より

平成十七年三月十八日、（土）、枇杷島スポーツセンター大会議室にお

いて評議員会、理事会が開催された。議題中、広報すべき次の二点について記事としたい。

◎初・三段の形審査内容の変更

初段 五本から三本に
二段 七本（変更なし）
三段 七本（変更なし）

これまで愛知県剣道連盟では形審査については、初段受審者五本、二段受審者七本としてきた。これを全日本剣道連盟が基準として示していく所に合わせて、初段受審者三本、二段受審者五本に変更するというものである。審査時には形講習会も併せて行われるが、本数を少なくして質を高めるという意味であつて、決して審査や講習の基準を下げると言ふものではないといふ勝股理事長よりの改正主旨説明があつた。

◎将来構想委員会報告
林邦夫将来構想委員会委員長より、文書を以て将来構想委員会（旧長

ら前に出ようと足幅が広くなつたところに清家選手の面が伸び、安藤選手の延長一本負け。

で、畠山選手が二本勝ちした。

第五十一回全日本東西対抗

剣道大会

平成十七年九月二十五日に鹿児島市で開催された本大会には、外山浩規選手・大河内鉄彦選手・畠山隆吉選手（愛知県警）らが選抜出場した。

愛知県勢の活躍は目覚しく、三選手とも実力を發揮した。

三四四将
外山浩規 対 山室雅幹（徳島）

序盤に外山が大技の面を決める。二本目は山室選手が小手に打つて出て間合いが詰まつたところからすかさず引き面を打ち、外山選手が二本勝ちした。

二十二将
大河内鉄彦 対 川村慎一（高知）

一本目は川村選手が小手を先制。二本目・三本目と川村選手が出るところに大河内選手が面に乗つて、大河内選手が勝利。

七将
畠山隆吉 対 鈴木康生（和歌山）

一本目は小手に合わせて小手面、二本目は小手面に合わせての出端面

が延長に入り、石川選手の手元の上がるところを杉本選手が面に乗り、石川選手の一本負となつた。

今道恵子 対 永井野久美（東京）

延長戦となり、今道選手が面の一一本目を宮川選手に奪われた。

二回戦
畠山隆吉（五十三歳）
出身高校 豊橋商業高校
所属 愛知県警・機動隊
身長一七三cm 体重七三kg
得意技 面

大河内鉄彦（二十六歳）
出身高校 磐田西高校
所属 教士八段
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

今道恵子（二十八歳）
出身大学 中京大学
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

石川香苗（五十三歳）
出身高校 豊橋商業高校
所属 愛知県警・機動隊
身長一七三cm 体重七三kg
得意技 面

で、畠山選手が二本勝ちした。

第四十四回全日本女子剣道

選手権大会

平成十七年九月四日、藤枝市で開催された本大会には、本県代表として石川香苗選手と今道恵子選手が出場した。三回目出場の石川選手は一回戦で、五回目出場の今道選手は二回戦で惜敗した。

一回戦
石川香苗 対 杉本早恵子（京都）

延長に入り、石川選手の手元の上がるところを杉本選手が面に乗り、石川選手の一本負となつた。

二回戦
今道恵子 対 宮川瑠璃子（茨城）

延長戦となり、今道選手が面の一一本目を宮川選手に奪われた。

三回戦
今道恵子（二十八歳）
出身高校 大分三重高校
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

石川香苗（二十六歳）
出身高校 磐田西高校
所属 教士八段
身長一七三cm 体重七三kg
得意技 面

今道恵子（二十八歳）
出身大学 中京大学
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

畠山隆吉（五十三歳）
出身高校 豊橋商業高校
所属 愛知県警・機動隊
身長一七三cm 体重七三kg
得意技 面

大河内鉄彦（二十六歳）
出身高校 磐田西高校
所属 教士八段
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

今道恵子（二十八歳）
出身大学 中京大学
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

石川香苗（五十三歳）
出身高校 豊橋商業高校
所属 愛知県警・機動隊
身長一七三cm 体重七三kg
得意技 面

今道恵子（二十八歳）
出身大学 中京大学
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

畠山隆吉（五十三歳）
出身高校 豊橋商業高校
所属 愛知県警・機動隊
身長一七三cm 体重七三kg
得意技 面

大河内鉄彦（二十六歳）
出身高校 磐田西高校
所属 教士八段
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

今道恵子（二十八歳）
出身大学 中京大学
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

石川香苗（五十三歳）
出身高校 豊橋商業高校
所属 愛知県警・機動隊
身長一七三cm 体重七三kg
得意技 面

今道恵子（二十八歳）
出身大学 中京大学
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

で、畠山選手が二本勝ちした。

第五十四回全日本都道府県対抗

選手権大会

平成十七年九月四日、藤枝市で開催された本大会には、本県代表として石川香苗選手と今道恵子選手が出場した。三回目出場の石川選手は一回戦で、五回目出場の今道選手は二回戦で惜敗した。

一回戦
石川香苗 対 杉本早恵子（京都）

延長に入り、石川選手の手元の上がるところを杉本選手が面に乗り、石川選手の一本負となつた。

二回戦
今道恵子 対 宮川瑠璃子（茨城）

延長戦となり、今道選手が面の一一本目を宮川選手に奪われた。

三回戦
今道恵子（二十八歳）
出身高校 大分三重高校
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

石川香苗（二十六歳）
出身高校 磐田西高校
所属 教士八段
身長一七三cm 体重七三kg
得意技 面

今道恵子（二十八歳）
出身大学 中京大学
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

畠山隆吉（五十三歳）
出身高校 豊橋商業高校
所属 愛知県警・機動隊
身長一七三cm 体重七三kg
得意技 面

大河内鉄彦（二十六歳）
出身高校 磐田西高校
所属 教士八段
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

今道恵子（二十八歳）
出身大学 中京大学
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

石川香苗（五十三歳）
出身高校 豊橋商業高校
所属 愛知県警・機動隊
身長一七三cm 体重七三kg
得意技 面

今道恵子（二十八歳）
出身大学 中京大学
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

畠山隆吉（五十三歳）
出身高校 豊橋商業高校
所属 愛知県警・機動隊
身長一七三cm 体重七三kg
得意技 面

大河内鉄彦（二十六歳）
出身高校 磐田西高校
所属 教士八段
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

今道恵子（二十八歳）
出身大学 中京大学
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

石川香苗（五十三歳）
出身高校 豊橋商業高校
所属 愛知県警・機動隊
身長一七三cm 体重七三kg
得意技 面

今道恵子（二十八歳）
出身大学 中京大学
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

で、畠山選手が二本勝ちした。

第五十四回全日本都道府県対抗

選手権大会

平成十七年九月四日、藤枝市で開催された本大会には、本県代表として石川香苗選手と今道恵子選手が出場した。三回目出場の石川選手は一回戦で、五回目出場の今道選手は二回戦で惜敗した。

一回戦
石川香苗 対 杉本早恵子（京都）

延長に入り、石川選手の手元の上がるところを杉本選手が面に乗り、石川選手の一本負となつた。

二回戦
今道恵子 対 宮川瑠璃子（茨城）

延長戦となり、今道選手が面の一一本目を宮川選手に奪われた。

三回戦
今道恵子（二十八歳）
出身高校 大分三重高校
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

石川香苗（二十六歳）
出身高校 磐田西高校
所属 教士八段
身長一七三cm 体重七三kg
得意技 面

今道恵子（二十八歳）
出身大学 中京大学
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

畠山隆吉（五十三歳）
出身高校 豊橋商業高校
所属 愛知県警・機動隊
身長一七三cm 体重七三kg
得意技 面

大河内鉄彦（二十六歳）
出身高校 磐田西高校
所属 教士八段
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

今道恵子（二十八歳）
出身大学 中京大学
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

石川香苗（五十三歳）
出身高校 豊橋商業高校
所属 愛知県警・機動隊
身長一七三cm 体重七三kg
得意技 面

今道恵子（二十八歳）
出身大学 中京大学
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

畠山隆吉（五十三歳）
出身高校 豊橋商業高校
所属 愛知県警・機動隊
身長一七三cm 体重七三kg
得意技 面

大河内鉄彦（二十六歳）
出身高校 磐田西高校
所属 教士八段
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

今道恵子（二十八歳）
出身大学 中京大学
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

石川香苗（五十三歳）
出身高校 豊橋商業高校
所属 愛知県警・機動隊
身長一七三cm 体重七三kg
得意技 面

今道恵子（二十八歳）
出身大学 中京大学
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

で、畠山選手が二本勝ちした。

第五十四回全日本都道府県対抗

選手権大会

平成十七年九月四日、藤枝市で開催された本大会には、本県代表として石川香苗選手と今道恵子選手が出場した。三回目出場の石川選手は一回戦で、五回目出場の今道選手は二回戦で惜敗した。

一回戦
石川香苗 対 杉本早恵子（京都）

延長に入り、石川選手の手元の上がるところを杉本選手が面に乗り、石川選手の一本負となつた。

二回戦
今道恵子 対 宮川瑠璃子（茨城）

延長戦となり、今道選手が面の一一本目を宮川選手に奪われた。

三回戦
今道恵子（二十八歳）
出身高校 大分三重高校
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

石川香苗（二十六歳）
出身高校 磐田西高校
所属 教士八段
身長一七三cm 体重七三kg
得意技 面

今道恵子（二十八歳）
出身大学 中京大学
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

畠山隆吉（五十三歳）
出身高校 豊橋商業高校
所属 愛知県警・機動隊
身長一七三cm 体重七三kg
得意技 面

大河内鉄彦（二十六歳）
出身高校 磐田西高校
所属 教士八段
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

今道恵子（二十八歳）
出身大学 中京大学
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

石川香苗（五十三歳）
出身高校 豊橋商業高校
所属 愛知県警・機動隊
身長一七三cm 体重七三kg
得意技 面

今道恵子（二十八歳）
出身大学 中京大学
所属 愛知県警・西警察署
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

畠山隆吉（五十三歳）
出身高校 豊橋商業高校
所属 愛知県警・機動隊
身長一七三cm 体重七三kg
得意技 面

大河内鉄彦（二十六歳）
出身高校 磐田西高校
所属 教士八段
身長一七四cm 体重八十九kg
得意技 面

今道恵子（二十八歳）<

剣道技術及び指導法1・2、実技実習1（稽古）を19：15まで行う。

二日目（10／1）

6：30 実技実習3、（朝食）審査員のあり方、日本剣道形指導法、日本剣道形実習および指導演習④⑤、（昼食・休憩）剣道技術論、木刀による剣道基本技稽古法、剣道技術および指導法3・4、剣道技術テスト⑥実技実習2（稽古）を19：30まで行う。20時から懇親会が開かれるも、翌日にテストがあるためか僅か1時間で切り上げ、全員が学習に入る。

三日目（10／3）
6：30～トレーニング実習、（朝食）剣道現代史、剣道安全管理、理論テスト⑦、これから剣道（昼食・休憩）、着替え・閉講式（○の中の数字がテストの項目と回数を示す。満点は35点という意味である）

三、講習会の実施状況について
(1) 剣道指導者の在り方について
(岡村忠典委員長)

剣道は、日本におけるすばらしい伝統文化である。しかも、今や九ヶ国に及ぶ外国においても行われるようになってきている。それだけに、日本における剣道指導者がどうして参加するようになった。

平成元年、これまでスポーツの中の「格技」と分類されていたものが「武道」と名称が変わった。

・全日本剣道連盟は、大日本武徳会時代に行われていた規定と全く面目を一新した試合・審判規定を制定することも急務とされた。

・戦後剣道の復興にあたり、称号・段位制度をどうするかということも、大きな問題であった。

・剣道の普及につとめ、剣道の国際的発展や女性や少年への普及など、戦前にはみられなかつた裾野の広がりがで、今日の隆盛を迎えたのである。

・剣道の理念」の制定が企画され、昭和五十年に最終案がまとまつた。
(6) 審判指導法（田口講師）
ここでは講習者が、審判、試合者、それを指導する者、にそれぞれ別れ、評価を受けた。

ここでのポイントは、①玄妙な技など、難しい技の判断を要する有効打突の判定ができるか？②禁止行為（細則一七条七項）不当な行為（二六条）をしつかり判断できるか？③審判員の位置取りは良いか？④宣告の仕方は？（はつきり言うこと）⑤鷲競り合いは、不当なものか？膠

あるべきか、大変重要な問題であると認識しなければならないことを強調され、次のような内容で講義された。

・剣道の理念を根本において指導剣道界における良き伝統を伝承すること

・剣道の内容について理解を深め実践できるようになること

・指導者としての素養を高める

・(福本講師)
(2) 審査員のあり方・剣道技術論

・審査する場合には、端正な姿勢で、相互に話し合っているような姿は絶対にみせてはならない。私語は誤解を招くので厳に慎むこと。

・審査の会場やその周辺においては、受審者や見学者等との接触は慎むこと。

・携帯電話等で、審査の模様を話しているようなことは見せないこと。

・電源を切る等の対策が必要。

・審査員に選考された者はその候補者は、いかなる審査会においてもみだりに審査会場に出入りし、特定の受審者を益しまさは害するがごときの言動は絶対にしないこと。

・その他、審査の公平、公平を疑われるような、いかなる言動も慎むこと。

・個人差・鍛錬度に応じた適切な指導ができること

・興味を持たせながら上手に示範ができること

・竹刀による事故は、中絶の緩み、先革の短いもの、竹刀の破損によるものがある。防止策としては、

・これら不具合竹刀の保守点検と指導者によるチエックが有効である。

・竹刀で打突の最大打撃力については、小学生、中学生、高校生、成人の男・女で異なる。それを図に示し解説された。

・事故の例では、頭部に関連したものは、急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫があり、首のケガといふこと。

・竹刀による頭部に関連したものは、急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫があり、首のケガといふこと。

・止心の時、即ち打つて出る時が危険である。或いは三つの許されぬ所を教える。攻防の理合を形で示すことは難しいので、示範し、後継者に伝えていくことが肝要である。

・(8) 木刀による剣道基本技稽古法（網代講師）

・防具を着用して、一本打ちの技から始まって、二段打ち、返し技、応じ技等々の練習を行う。これは試験問題に繋がる重要な科目であった。

・(9) 剣道の応用技術および指導法（林講師・田口講師）

・打突の機会の捉え方。この時の攻め合いからの一拍子の打突、遠間攻めて相互の打突（三殺法）、指導者としてあらゆる技の理解（片手技、打ち落とし技等をできなくとも知つていなければならない）

・(10) 稽古会

こと。

（3） 日本剣道形における指導者の心得（田口講師）

・剣道形の意義目的の熟知

・剣道形制定の経緯、修練の効果、用語等についての明晰な説明

・打突の機会、技に応じた打突の度合い、緩急強弱の伝達

・刀の各部の名称と機能の説明

・刀の取扱いや刀法の熟知

・個人差・鍛錬度に応じた適切な指導ができること

・興味を持たせながら上手に示範ができること

・竹刀による事故は、中絶の緩み、先革の短いもの、竹刀の破損によるものがある。防止策としては、

・これら不具合竹刀の保守点検と指導者によるチエックが有効である。

・竹刀で打突の最大打撃力については、小学生、中学生、高校生、成人の男・女で異なる。それを図に示し解説された。

・事故の例では、頭部に関連したものは、急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫があり、首のケガといふこと。

・止心の時、即ち打つて出る時が危険である。或いは三つの許されぬ所を教える。攻防の理合を形で示すことは難しいので、示範し、後継者に伝えていくことが肝要である。

・(8) 木刀による剣道基本技稽古法（網代講師）

・防具を着用して、一本打ちの技から始まって、二段打ち、返し技、応じ技等々の練習を行う。これは試験問題に繋がる重要な科目であった。

・(9) 剣道の応用技術および指導法（林講師・田口講師）

・打突の機会の捉え方。この時の攻め合いからの一拍子の打突、遠間攻めて相互の打突（三殺法）、指導者としてあらゆる技の理解（片手技、打ち落とし技等をできなくとも知つていなければならない）

・(10) 稽古会

事なことは正しい着装、正しい動作、補助具の活用がある。剣道難聴についても若年化していることを知つておくこと。

（5） 剣道現代史（大保木講師）

・剣道形に関する正しい知識

・剣道形制定の経緯、修練の効果、用語等についての明晰な説明

・打突の機会、技に応じた打突の度合い、緩急強弱の伝達

・刀の各部の名称と機能の説明

・刀の取扱いや刀法の熟知

・個人差・鍛錬度に応じた適切な指導ができること

・興味を持たせながら上手に示範ができること

・竹刀による事故は、中絶の緩み、先革の短いもの、竹刀の破損によるものがある。防止策としては、

・これら不具合竹刀の保守点検と指導者によるチエックが有効である。

・竹刀で打突の最大打撃力については、小学生、中学生、高校生、成人の男・女で異なる。それを図に示し解説された。

・事故の例では、頭部に関連したものは、急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫があり、首のケガといふこと。

・止心の時、即ち打つて出る時が危険である。或いは三つの許されぬ所を教える。攻防の理合を形で示すことは難しいので、示範し、後継者に伝えていくことが肝要である。

・(8) 木刀による剣道基本技稽古法（網代講師）

・防具を着用して、一本打ちの技から始まって、二段打ち、返し技、応じ技等々の練習を行う。これは試験問題に繋がる重要な科目であった。

・(9) 剑道の応用技術および指導法（林講師・田口講師）

・打突の機会の捉え方。この時の攻め合いからの一拍子の打突、遠間攻めて相互の打突（三殺法）、指導者としてあらゆる技の理解（片手技、打ち落とし技等をできなくとも知つていなければならない）

・(10) 稽古会

・社会体育の実施に関する件」という通牒を発布した。その内容は、武道の取扱い及び「武道」ということばの使用禁止までも含まれているものであった。

・剣道は一時中断したように見えたが、連合國軍総司令部GHQの弾圧をくぐつて稽古していた人たちが全国各地に存在したのであった。

・昭和二十八年「社会体育として剣道の取扱いについて」という通知がだされ、「剣道は、スポーツの一種目として教育的に取扱いに取扱い」という指導方針（以下略）

・昭和三十年、全日本剣道連盟は日本体育協会への加盟が認められ、第十回国民体育大会の正式種目と

資料を提示された。その中で特に強調された点を列記する。

・武道が戦時中、軍国主義教育に利用された理由で、剣道は強制的に禁止された。

・「社会体育の実施に関する件」という通牒を発布した。その内容は、武道の取扱い及び「武道」ということばの使用禁止までも含まれているものであった。

・剣道は一時中断したように見えたが、連合國軍総司令部GHQの弾圧をくぐつて稽古していた人たちが全国各地に存在したのであった。

・昭和二十八年「社会体育として剣道の取扱いについて」という通知がだされ、「剣道は、スポーツの一種目として教育的に取扱いに取扱い」という指導方針（以下略）

・昭和三十年、全日本剣道連盟は日本体育協会への加盟が認められ、第十回国民体育大会の正式種目と

おめでとう	
剣道七段 (十七年四月三十日京都)	永岡伸一(43)
剣道五段 (十七年五月一日豊橋)	東 隆也(25)
神谷輝彦(32)	玉井宏和(29)
渡邊真吾(41)	松井 猛(30)
橋本謙吾(66)	尾崎師成(50)
加藤博望(54)	塙下晴彦(51)
中神吉央(42)	吉澤俊介(55)
水野良明(37)	伊藤 勇(66)
剣道八段 (十七年五月二日 松井)	尾崎師成(50)
新谷元夫(76)	塙下晴彦(51)
中村信貴(41)	吉澤俊介(55)
寺西春男(55)	伊藤 勇(66)
井上好美(45)	水野良明(37)
岩間義明(49)	中神吉央(42)
前田勇二(46)	水野良明(37)
川合規夫(43)	中村信貴(41)
千石忠夫(40)	大谷和生(42)
祖父江嘉人(40)	奥田浩史(45)
坂野勝利(38)	神野康弘(40)
吉田敏昭(46)	小林恒夫(38)
坂野賢二(46)	波江野和美(32)
岸 豊(60)	小林恒夫(38)
松原 洋(60)	波江野和美(32)
杉山英二(63)	坂野勝利(38)
居合道七段 (十七年六月二十四日箱根)	岸 豊(60)
新谷元夫(76)	杉山英二(63)
中村信貴(41)	吉田敏昭(46)
奥田浩史(45)	坂野賢二(46)
竹内雅雄(46)	坂野勝利(38)
足立邦雄(48)	吉田敏昭(46)
山本清一(49)	吉田敏昭(46)
岡田和也(26)	奥田浩史(45)
高柳 真(27)	吉田敏昭(46)
飯田貴久(33)	吉田敏昭(46)
諸富光昭(50)	吉田敏昭(46)
鶴見俊成(48)	吉田敏昭(46)
庄司雅寛(54)	吉田敏昭(46)
川淵孝樹(58)	吉田敏昭(46)
白木原賢三(64)	吉田敏昭(46)
芦江絹代(57)	吉田敏昭(46)
武田哲臣(55)	吉田敏昭(46)
早川和美(55)	吉田敏昭(46)
山口照義(56)	吉田敏昭(46)
剣道教士 (十七年五月六日 松下明房)	吉田敏昭(46)
京都)	吉田敏昭(46)
剣道教士 (十七年五月六日 武田哲臣)	吉田敏昭(46)
京都)	吉田敏昭(46)
剣道七段 (十七年五月六日 松下明房)	吉田敏昭(46)
京都)	吉田敏昭(46)
剣道七段 (十七年五月六日 剣道教士)	吉田敏昭(46)
京都)	吉田敏昭(46)
剣道七段 (十七年五月六日 剣道教士)	吉田敏昭(46)
京都)	吉田敏昭(46)
剣道七段 (十七年五月六日 剣道教士)	吉田敏昭(46)
京都)	吉田敏昭(46)
居合道七段 (十七年八月二十八日高松)	河合久江(58)
山部貴文(40)	與儀美江子(29)
森谷義弘(59)	河合久江(58)
剣道七段 (十七年八月二十八日高松)	河合久江(58)
山部貴文(40)	與儀美江子(29)
森谷義弘(59)	河合久江(58)
居合道七段 (十七年十月二日 中)	中江 武(44)
甲斐幹涉(23)	丸谷 充(69)
村井光子(58)	中江 武(44)
菊池慎祐(41)	丸谷 充(69)
杉浦素子(33)	中江 武(44)
桂川 学(37)	勝野伸太郎(37)
今井郁文(52)	服部光雄(55)
永倉隆敏(55)	岡田啓次郎(64)
山下恒典(60)	岡田啓次郎(64)
桂川 学(37)	岡田啓次郎(64)
今井郁文(52)	岡田啓次郎(64)
永倉隆敏(55)	岡田啓次郎(64)
坂野 武(76)	岡田啓次郎(64)
佐原邦夫(63)	岡田啓次郎(64)
矢野憲三(59)	岡田啓次郎(64)
松崎伸彦(25)	岡田啓次郎(64)
杉浦素子(33)	岡田啓次郎(64)
居合道五段 (十七年十一月六日刈谷)	高橋 至(32)
内藤友和(25)	野口正健(63)
高橋 伸彦(25)	中倉 章(49)
田崎逸夫(53)	勝野伸太郎(37)
甲斐幹涉(23)	服部光雄(55)
菊池慎祐(41)	岡田啓次郎(64)
杉浦素子(33)	岡田啓次郎(64)
居合道五段 (十七年十一月六日刈谷)	堤 茂和(41)
高橋 至(32)	堤 茂和(41)
野口正健(63)	堤 茂和(41)
中倉 章(49)	堤 茂和(41)
勝野伸太郎(37)	堤 茂和(41)
服部光雄(55)	堤 茂和(41)
岡田啓次郎(64)	堤 茂和(41)
居合道六段 (十七年十一月十九日枇杷島)	眞城 進(36)
丸谷 充(69)	眞城 進(36)
居合道六段 (十七年十一月十九日枇杷島)	眞城 進(36)
勝野伸太郎(37)	眞城 進(36)
服部光雄(55)	眞城 進(36)
岡田啓次郎(64)	眞城 進(36)
居合道七段 (十七年十一月十九日枇杷島)	佐久間宏(34)
丸谷 充(69)	佐久間宏(34)
居合道七段 (十七年十一月十九日枇杷島)	花木 巖(38)
勝野伸太郎(37)	花木 巖(38)
服部光雄(55)	花木 巖(38)
岡田啓次郎(64)	花木 巖(38)
居合道七段 (十七年十一月十九日枇杷島)	竹内 靖(45)
勝野伸太郎(37)	竹内 靖(45)
服部光雄(55)	竹内 靖(45)
岡田啓次郎(64)	竹内 靖(45)
居合道六段 (十七年十一月二十日枇杷島)	牧野孝夫(47)
野口正健(63)	牧野孝夫(47)
中倉 章(49)	牧野孝夫(47)
勝野伸太郎(37)	牧野孝夫(47)
服部光雄(55)	牧野孝夫(47)
岡田啓次郎(64)	牧野孝夫(47)
居合道六段 (十七年十一月二十日枇杷島)	二橋 隆(49)
野口正健(63)	二橋 隆(49)
中倉 章(49)	二橋 隆(49)
勝野伸太郎(37)	二橋 隆(49)
服部光雄(55)	二橋 隆(49)
岡田啓次郎(64)	二橋 隆(49)
居合道六段 (十七年十一月二十日枇杷島)	栗木春光(51)
高橋 至(32)	栗木春光(51)
野口正健(63)	栗木春光(51)
中倉 章(49)	栗木春光(51)
勝野伸太郎(37)	栗木春光(51)
服部光雄(55)	栗木春光(51)
岡田啓次郎(64)	栗木春光(51)
居合道教士 (十七年十一月三十日東京)	鈴木仁士(53)
井関朝子(64)	鈴木仁士(53)
居合道教士 (十七年十一月三十日東京)	森島剛一(58)
井関朝子(64)	森島剛一(58)
居合道教士 (十七年十一月三十日東京)	杉本佳彦(63)
井関朝子(64)	杉本佳彦(63)
居合道教士 (十七年十一月三十日東京)	三尾恒介(79)
井関朝子(64)	三尾恒介(79)
居合道教士 (十七年十一月三十日東京)	神谷和之(64)
井関朝子(64)	神谷和之(64)
居合道教士 (十七年十一月三十日東京)	大島晴美(56)
井関朝子(64)	大島晴美(56)

私は二〇〇五年五月韓国から日本に来た。いきなり日本の学校、クラスに入つて、言葉にも習慣にもあまり慣れなくて、親しい友人も出来なかつた。それで、部活に入つたら友達が出来ると思い、運動のすきな私は剣道部に入った。剣道を初めて習う私は戸惑いでいっぱいだつた。最初は摺り足と素振りの練習ばっかりで単純だしつらいで楽しくなかつた。でも一ヶ月が過ぎたころ面付けを習い、皆と一緒に練習ができるようになつてからは、毎日が樂しくなつた。

剣道を見て、最初に思つたことは礼儀正しく迫力があるということだ。面を着けて気合いを入れながら練習すると気が引き締まり、姿勢も正しくなり普段の行動も沈着冷静になつたと思う。また試合を見たり、練習試合をしたりして判断力も身に付き積極性も生まれたと思う。

私が剣道で学んだことは、日本

日本で学ぶ剣道

学校三年
崔智
那



けれど剣道をす
い合うということ
の私でも一級に
さたし、試合にも
とき、うれしかつ
生まれた。剣道は
るので、他の運動
んかくし、大変だ
時の爽快さは他に
とても気持ちが
松はこの高校生活
で剣道に出会つ
て、大変感謝し
ているし、最後
までがんばりた
い、初段を目指
したいと思つて

連 盟 所 在 地

尾張剣道連盟 理事長 丸山清司 事務局長 日比野隆夫
〒491-0903 一宮市八幡4-1-28 一宮市武道館内
TEL 0586-43-1023 FAX同じ

名古屋市剣道連盟 理事長 伊藤一彦 事務局長 吉賀萬須美
〒454-0022 名古屋市中川区露橋1-31-20 富士見ビル2-G
TEL 052-361-8073 FAX同じ

西三河剣道連盟 理事長 塩野谷厚 事務局長 手嶋道雄
〒471-0813 豊田市野見山町3-78-14 手嶋様方
TEL 0565-89-3274

東三河剣道連盟 理事長 富田孝夫 事務局長 藤坂彰一
〒441-0841 豊橋市西口町西ノ口46-1 藤坂様方
TEL 0532-61-0816

尾南地区剣道連盟 理事長 細川昌 事務局長 安部秀利
〒477-0032 東海市加木屋町北鹿持34-62 安部秀利様方(事務局長)
TEL 0562-34-4866 FAX同じ

平成18年度事業計画

財団法人 愛知県剣道連盟

8月		9月		10月	
会場	開催日	会場	開催日	会場	開催日
全剣連・県剣連・地区剣連その他行事					
1火 ○第60回愛知県中学校総合体育大会(2~4日)	豊川市	1金 ○第53回高等学校総合体育大会(2~4日)	京都市	1木 ○第61回高等学校総合体育大会(1~4日)	赤穂市
2水 ○第45回全日本女子剣道選手権大会	東海地区スポーツセンター	2木 ○第45回全日本女子剣道選手権大会	京都市	2木 ○第4回全日本学生剣道選手権大会(1~5日)	赤穂市
3木		3木 ○第4回全日本女子剣道選手権大会	京都市	3木 ○第4回全日本学生剣道選手権大会(1~5日)	赤穂市
4金		4金 ○第4回全日本女子剣道選手権大会	京都市	4木 ○第4回全日本学生剣道選手権大会(1~5日)	赤穂市
5土	▲東海地区剣道合同稽古会	15:00	5土	▲東海地区剣道合同稽古会	15:00
6日	△尾南剣道指導者審査会	東海	6日	△尾南剣道指導者審査会	東海
7月	▲東海地区剣道合同稽古会(初~3段)	新城市	7月	▲東海地区剣道合同稽古会(初~3段)	新城市
8火	○第2回東海中学総合体育大会(剣道)	豊橋市	8火	○第2回東海中学総合体育大会(剣道)	豊橋市
9水		9水		9水	
10木	○第4回全国教職員剣道大会	郡山市	11金	△尾南剣道指導者審査会(初~3段)	東海
11金		11金		11金	
12土	▲尾南剣道級審査会	東海	12土	▲尾南剣道級審査会	東海
13日	○第3回東海中学総合体育大会(剣道)	豊橋市	13日	○第3回東海中学総合体育大会(剣道)	豊橋市
14火		14火		14火	
15水	○第36回全国学校剣道大会(17~19日)	岐阜市	15水	○第36回全国学校剣道大会(17~19日)	岐阜市
16木	○第49回全日本学生剣道優勝大会	新城市	16木	○第49回全日本学生剣道優勝大会	新城市
17木	○第4回全国高校剣道大会(17~19日)	新城市	17木	○第4回全国高校剣道大会(17~19日)	新城市
18金	●杖道六・七段審査会	東海	18金	●杖道六・七段審査会	東海
19土	●杖道地区稽古会(19~20日)	豊橋市	19土	●杖道地区稽古会(19~20日)	豊橋市
20日	●杖道七段審査会	豊橋市	20日	●杖道七段審査会	豊橋市
21月	●第40回高等学校柔道選手権大会(春季)	豊橋市	21月	●第40回高等学校柔道選手権大会(春季)	豊橋市
22火	●名古屋市スポーツ祭(中学)	豊橋市	22火	●名古屋市スポーツ祭(中学)	豊橋市
23水	●名古屋市民スポーツ祭(高校)	豊橋市	23水	●名古屋市民スポーツ祭(高校)	豊橋市
24木		24木		24木	
25金	●第6回全県地区柔道選手権大会	豊橋市	25金	●第6回全県地区柔道選手権大会	豊橋市
26土	▲居合道・杖道合同稽古会	豊橋市	26土	▲居合道・杖道合同稽古会	豊橋市
27日	●杖道六段審査会	豊橋市	27日	●杖道六段審査会	豊橋市
28月		28月		28月	
29火		29火		29火	
30木		30木		30木	
備考 ●全剣連 ○全剣連開催日 ▲馬連開催 △県連開催					
名古屋…毎月第2曜日(第4曜日) 東三河…毎月1回 東三河…毎月第2、第4曜日					
西三河…毎月1回 西三河…毎月第1回					

*日程、会場の変更もありますので、必ず開催要項を確認下さい。

平成18年度事業計画

財団法人 愛知県剣道連盟

4月		5月		6月		7月		8月	
会場	開催日	会場	開催日	会場	開催日	会場	開催日	会場	開催日
全剣連・県剣連・地区剣連その他行事									
1土	●第45回東日本中央講習会(1~4日)	東京都	1木	●第15回八段研修会(1~4日)	東京都	1木	●第15回八段研修会(1~4日)	東京都	1木
2火	▲剣道四・五段受審者講習会	名古屋	2金	●第22回愛知県家庭内剣道大会(2~5日)	京都市	2金	●第22回愛知県家庭内剣道大会(2~5日)	京都市	2金
3木	●東海地区剣道合同稽古会(初~3段)	豊橋市	3土	●第49回全国健常福祉大会(1~5日)	京都市	3土	●第49回全国健常福祉大会(1~5日)	京都市	3土
4木	△名古屋剣道指導者審査会	豊橋市	4木	●第4回全日本学生剣道選手権大会(1~5日)	京都市	4木	●第4回全日本学生剣道選手権大会(1~5日)	京都市	4木
5木	●杖道四・五段受審者講習会	豊橋市	5木	●第4回全日本学生剣道選手権大会(1~5日)	京都市	5木	●第4回全日本学生剣道選手権大会(1~5日)	京都市	5木
6水	●第4回全日本学生剣道選手権大会(1~5日)	豊橋市	6土	●第60回高等学校総合体育大会(1~5日)	半田市	6土	●第60回高等学校総合体育大会(1~5日)	半田市	6土
7木	●第4回全日本学生剣道選手権大会(1~5日)	豊橋市	7日	●第60回高等学校総合体育大会(1~5日)	半田市	7日	●第60回高等学校総合体育大会(1~5日)	半田市	7日
8木	●第4回全日本学生剣道選手権大会(1~5日)	豊橋市	8日	●第44回東三河剣道大会(1~5日)	豊橋市	8日	●第44回東三河剣道大会(1~5日)	豊橋市	8日
9火	●第4回全日本選手権記録会	東京	9火	●第4回全日本選手権記録会	東京	9火	●第4回全日本選手権記録会	東京	9火
10日	●第4回全日本選手権記録会	東京	10日	●第4回全日本選手権記録会	東京	10日	●第4回全日本選手権記録会	東京	10日
11火	●第4回全日本選手権記録会	東京	11火	●第4回全日本選手権記録会	東京	11火	●第4回全日本選手権記録会	東京	11火
12水	●第4回全日本選手権記録会	東京	12水	●第4回全日本選手権記録会	東京	12水	●第4回全日本選手権記録会	東京	12水
13木	●第4回全日本選手権記録会	東京	13木	●第4回全日本選手権記録会	東京	13木	●第4回全日本選手権記録会	東京	13木
14木	●第4回全日本選手権記録会	東京	14木	●第4回全日本選手権記録会	東京	14木	●第4回全日本選手権記録会	東京	14木
15火	●第4回全日本選手権記録会	東京	15火	●第4回全日本選手権記録会	東京	15火	●第4回全日本選手権記録会	東京	15火
16水	●第4回全日本選手権記録会	東京	16水	●第4回全日本選手権記録会	東京	16水	●第4回全日本選手権記録会	東京	16水
17木	●第4回全日本選手権記録会	東京	17木	●第4回全日本選手権記録会	東京	17木	●第4回全日本選手権記録会	東京	17木
18木	●第4回全日本選手権記録会	東京	18木	●第4回全日本選手権記録会	東京	18木	●第4回全日本選手権記録会	東京	18木
19火	●第4回全日本選手権記録会	東京	19火	●第4回全日本選手権記録会	東京	19火	●第4回全日本選手権記録会	東京	19火
20日	●第4回全日本選手権記録会	東京	20日	●第4回全日本選手権記録会	東京	20日	●第4回全日本選手権記録会	東京	20日
21月	●第4回全日本選手権記録会	東京	21月	●第4回全日本選手権記録会	東京	21月	●第4回全日本選手権記録会	東京	21月
22火	●第4回全日本選手権記録会	東京	22火	●第4回全日本選手権記録会	東京	22火	●第4回全日本選手権記録会	東京	22火
23水	●第4回全日本選手権記録会	東京	23水	●第4回全日本選手権記録会	東京	23水	●第4回全日本選手権記録会	東京	23水
24木	●第4回全日本選手権記録会	東京	24木	●第4回全日本選手権記録会	東京	24木	●第4回全日本選手権記録会	東京	24木
25木	●第4回全日本選手権記録会	東京	25木	●第4回全日本選手権記録会	東京	25木	●第4回全日本選手権記録会	東京	25木
26水	●第4回全日本選手権記録会	東京	26水	●第4回全日本選手権記録会	東京	26水	●第4回全日本選手権記録会	東京	26水
27木	●第4回全日本選手権記録会	東京	27木	●第4回全日本選手権記録会	東京	27木	●第4回全日本選手権記録会	東京	27木
28木	●第4回全日本選手権記録会	東京	28木	●第4回全日本選手権記録会	東京	28木	●第4回全日本選手権記録会	東京	28木
29木	●第4回全日本選手権記録会	東京	29木	●第4回全日本選手権記録会	東京	29木	●第4回全日本選手権記録会	東京	29木
30木	●第4回全日本選手権記録会	東京	30木	●第4回全日本選手権記録会	東京	30木	●第4回全日本選手権記録会	東京	30木
備考 ●全剣連 ○全剣連開催日 ▲馬連開催 △県連開催									
名古屋…毎月第2曜日(第4曜日) 東三河…毎月1回 東三河…毎月第2、第4曜日									
西三河…毎月1回 西三河…毎月第1回									

9月		10月		11月		12月		1月	
会場	開催日	会場	開催日	会場	開催日	会場	開催日	会場	開催日
全剣連・県剣連・地区剣連その他行事									
1木	●第4回全日本選手権記録会	東京都	1木	●第15回八段研修会(1~4日)	東京都	1木	●第15回八段研修会(1~4日)	東京都	1木
2火	●第4回全日本選手権記録会	名古屋	2金	●第22回愛知県家庭内剣道大会(2~5日)	京都市	2金	●第22回愛知県家庭内剣道大会(2~5日)	京都市	2金
3木	●第4回全日本選手権記録会	豊橋市	3土	●第49回全国健常福祉大会(1~5日)	京都市	3土	●第49回全国健常福祉大会(1~5日)	京都市	3土
4木	●第4回全日本選手権記録会	名古屋	4木	●第4回全日本学生剣道選手権大会(1~5日)	京都市	4木	●第4回全日本学生剣道選手権大会(1~5日)	京都市	4木
5木	●第4回全日本選手権記録会	豊橋市	5木	●第4回全日本学生剣道選手権大会(1~5日)	京都市	5木	●第4回全日本学生剣道選手権大会(1~5日)	京都市	5木
6水	●第4回全日本								

剣道・居合道・杖道

平成15年8月20日(改定)
(財)愛知県剣道連盟

段・級	審査料	登録料
8～2級	1,000円	1,900円
1級	1,100円	2,500円
初段	2,000円	5,200円
式段	2,200円	6,100円
参段	3,100円	8,900円
四段	3,800円	11,000円
五段	4,800円	17,000円
六段	11,000円	37,200円
七段	14,000円	60,100円
八段	17,000円	87,200円
称号		
鍊士	20,400円	49,000円
教士	30,000円	70,000円
範士		105,000円

※審査料・傷害保険料等が含まれております。
※審査料は、事務手数料として、
15年11月以降実施の審査における料金を下げる場合、
級別受験に際し、加盟金(終身)を納入登録料額
に満七十歳になつた方は、は、
なければなりません。
※審査料は、前回までの半料額
※消費税五%込み

(消費税込価格)

書籍販売価格表

剣道の訓	300円
「日本剣道形解説書」の手引き	300円
日本剣道形解説書(全剣連)	300円
幼少年剣道指導要領(改訂版)	1,600円
剣道試合・審判規則・細則	350円
剣道試合・審判運営の手引き	150円
称号・段位審査規則・細則	350円
付称号・段位審査実施要領〔剣道・居合道・杖道〕	
剣道講習会資料	500円*
剣道社会体育教本	2,100円
剣道医学Q&A	2,100円
竹刀及び剣道具規格	350円
愛劍連バッヂ	500円
全剣連剣道人バッヂ ネジ 大	1,600円
全日本剣道連盟「居合」解説書	350円
居合試合・審判規則・細則	350円
全日本剣道連盟「杖道」解説書	500円*
杖道試合・審判規則・細則	350円
*愛劍連【設立50周年記念誌】	3,000円

*愛劍連50周年誌+全剣連50年史同時購入の場合￥5,000円にて販売

- *全剣連【50年史】 3,000円
- *剣道の歴史 3,500円
- *「剣窓スペシャル」 1,000円
- *木刀による剣道基本技稽古法 500円
- *ビデオ「木刀による剣道基本技稽古法」 3,500円
- ビデオ「日本剣道形」 4,000円
- ビデオ「剣道指導要領」第1,2,3巻各 4,000円
- ビデオ「」第1,2,3巻セット 10,000円
- ビデオ「剣道試合・審判規則」 2,500円
- ビデオ「居合道」 4,000円
- ビデオ「杖道」 4,000円
- 愛劍連バッヂ 500円
- 全剣連剣道人バッヂ ネジ 大 1,600円
- 全日本剣道連盟「居合」解説書 350円
- タック 大 1,600円
- タック 小 1,100円

(消費税込価格)

平成18年度事業計画

1月	2月	3月
全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	全剣連・県剣連・地区剣連その他行事
1木 1木 1木	2金 2金 2金	3土 3土 3土
2火 3火 4火	3水 4日 5日	5水 6日 7日
3水 4木 5木	6木 7木 8木	8木 9木 10木
4木 5火 6木	9木 10木 11日	11日 12日 13日
5火 6木 7木	12日 13日 14日	14日 15日 16日
6木 7木 8金	17木 18日 19日	18日 19日 20日
7木 8金 9土	20日 21日 22日	21日 22日 23日
8金 9土 10日	23日 24日 25日	24日 25日 26日
9土 10日 11木	26日 27日 28日	27日 28日 29日
10日 11木 12金	29日 30日 31日	31日
11木 12金 13土		
12火 13火 14木		
13火 14木 15木		
14木 15木 16木		
15木 16木 17木		
16木 17木 18木		
17木 18木 19火		
18木 19火 20水		
19火 20水 21木		
20水 21木 22木		
21木 22木 23木		
22木 23木 24土		
23木 24土 25日		
24土 25日 26火		
25火 26火 27火		
26火 27火 28水		
27火 28水 29水		
28水 29水 30水		
29水 30水 31水		

備考 ●全剣連 ○全剣連・▲県連・△県連・△県連別手 告白の他

*日程、会場の変更もありますので、必ず開催要項を確認下さい。

名古屋市主催大会

各地区自主練習開催日

名古屋市主催大会

各地区主催大会

各地区主催

事務局だより

剣道殴立受審者の心理

「全剣連整理番号と
愛知県会員証番号」

愛知県会員証番号

二、全剣連整理番号は、剣道初段が合格された方に合格証書の左下の位置に記されます。これも終身変更はありません。

三、全段級の取得年月日の再確認と正確な記載が必要です。

以上三点については、誤りのない、

剣道（居合道、杖道を含む。以下「剣道」という。）式段以上の審査を受審される方は、必ず全剣道番号と愛剣連番号を所定の申込書に記入しないと受審できない。その件について左記に説明致します。

員（終身会員）にならなければ受審できないと記述されている。所定の手続により個人会員（終身会員）となる。

県内五地区連盟の記号は、次のとおりです。

尾 尾	張 A · B
名古屋	C · D
西三河	E · F
東三河	G · H
尾 尾	張 I · J

従つて、剣道、居合道、杖道で愛剣連会員となられた方はその会員証番号で剣道、居合道、杖道いずれも受審できます。

（一）会員証の紛失、盜難には、注意され、なくした時は再交付の申請をして下さい。

（二）段位合格証書の紛失の再発行は、相当額の手数料が必要となりますので要注意です。

注意事項

愛知県剣道連盟の主催する大会・審査については郵送の場合、必ず現金書留封簡に申込書と参加料及び審査料を添えて申込んで下さい。又は各自で持参しても結構です。



編集後記

『観の眼』第三十号を発行することとなりました。三十号記念としての特別な内容は準備しませんでしたが、今回は万博剣道フェスティバルの記事があり、偶然にも第三十号という節目を記念することとなりました。編集会議を前年度中に開催して準備を進め、年度末の理事・評議員会を終えて、五月の連休中に集中的に編集し、六月には発刊というのが、編集委員会としての予定ですが、毎回遅れ気味であることをお詫びいたし

日新报社

成績の持参またはファックス先は以下の通りです。

◇本社（名古屋市中区3の丸1ノ6ノ1）
問い合わせは 電話 052(201)0793
FAX 052(201)4331

◇豊橋支局（豊橋市八町通3ノ91）
FAX 0532(54)4655

◇岡崎支局（岡崎市東明大寺町16ノ18）
FAX 0564(25)1554

◇豊田支局（豊田市美山町3ノ34ノ34）
FAX 0565(25)1118

◇一宮支局（一宮市大江1ノ13ノ13）
FAX 0586(72)5035

◇半田支局（半田市出口町1ノ45ノ18）
FAX 0569(23)2372

◇春日井支局（春日井市鳥居松町3ノ60）
FAX 0568(81)2797

讀賣新聞社

FAX 052(211)1085

取材に来てくれることもありますので、先ず一報を

資料・広報委員会

広報「観の眼」第三十号

平成十八年七月一日

財団法人 愛知県剣道連盟

〒453-0044
名古屋市中村区鳥居通り1741
ウチフジビル2階

電話(052)481-10093
FAX(052)481-10095

題字・故竹田弘太郎名誉会長